

飛び出せ 学校

この新聞は、佐伯市切畑小学校の5年生(矢田みゆき教諭=15人)が、大分合同新聞の記者と一緒に作りました。

大分高小学生新聞

発行所
佐伯市
切畑小学校
5年生



宮岡邦夫さん

実り豊かな七刀畑の秘密

私たち切畑小学校の5年生は「弥生の魅力を大分県のみなさんに伝えよう」と取材を始めました。ところが取材を進めていくうちに昔の切畑の人たちは大変な苦勞をしていたことがわかってきました。しかし200年前に作られた「常盤井路」によって豊かな作物が実る地域となり、人々のくらしは激変しました。そんな切畑の歴史をくわしく調べたのでぜひ読んでください。



私たちの学校は広い田畑に囲まれています。昔の様子も知りたいたい、佐伯市の歴史に大変詳しい宮岡邦夫さん(63)にお話を聞きました。

「私たちが学校は広い田畑に囲まれています。昔の様子も知りたいたい、佐伯市の歴史に大変詳しい宮岡邦夫さん(63)にお話を聞きました。」



水に困っていた切畑が、現在のように生まれ変わったのは秘密があります。それは、出納藤左衛門さんの存在です。実は1691年には小田井路、1706年には「鬼ヶ瀬井路」という水路ができており、川を渡って「上岡村・下野村・上野村」には水が行き渡り、田でお米を作ることができるようになっ

ていたのだそうです。そこで、藤左衛門さんは切畑にもせめて、佐伯の殿様にかけ合いて、今度工費の補助金をお願いしました。それが足りず、私財をなげうって井路を引く工事をしたというのです。しかし、すでに他の井路が近隣の川から水を引いていたため、水源をとることができず、600年も離れた本匠から水を引く機械もなかったため、1日数十回しか進まないような工事を3年以上、のべ3

万5600人の人々と続けたということですが、今もその井路はきれいな水を本匠から切畑まで運んでくれています。



6月、私たちは学校の真ん前にある農事組合法人「王冠」の田、田植え体験をさせていただきました。私たちが植えたのは牛のえさになるWCSという種類の苗です。稲刈り後の田にマシムロのようなものがゴロンとあるのを見たことがありませんか？あれが一つ300粒もWCSのかたまりです。始めは泥に足を入れるのが気持ち悪くみんな大騒ぎでしたが、だんだん慣れ楽しく作業しました。泥で汚れた足

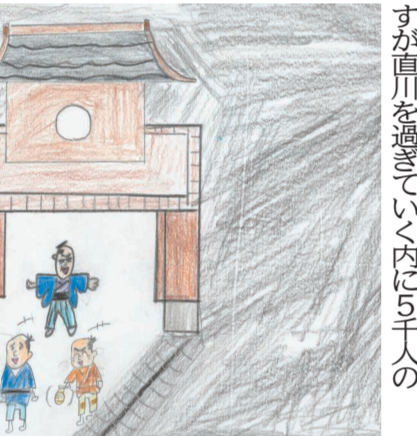


は「常盤井路」で洗い、シヤワーを使わずに済みました。その田植えをきっかけにもっと切畑の農業について調べよう8月末、今度は「王冠」の畑に行き、代表の田原俊秀さん(66)に取材をしました。そこではお米だけでなく、大豆・大麦・小麦・かぼちゃ・枝豆・えこ

私たちが作りました



の(イラスト)やも「回」などの道井路を作った



私たちが、宮岡さんのお話の中で1812年の冬、税として多くの米を出していたお百姓が不満を直接佐伯藩に訴えに行こうとした話が大変気になり、もっと知りたくなりました。そこで、その人々を案内し、「洞明寺」へ行き、清松寛哲住職(52)にお話を聞きました。人々は本匠を2人で出発したのですが直川を過ぎていく内に5千人の

群衆となりお城に向かっていき、殿様は城に来るのを止めるため、家老の戸倉織部さんを洞明寺にやり、そこで群衆を取めたということ。戸倉さんは寒い中やっていた人々に温かいお茶をふるまいた話を聞き、「私が殿に話をするので何とかこは帰って来ないか」とその場を取めたそうです。そんな歴史のあるお寺ですが、最

初は「洞明寺」と書いていたところ、3度も火事があったため「燈」を洞に交え1673年に洞明寺としたそうです。毎年1月には人々の幸せを願って行く「初大師」という祭りがあたたかさんの人々で賑わいます。また、あの出納藤左衛門さんのお墓もあり、切畑にはなくてはならない存在となっています。

新聞ができるまで

佐伯市弥生門田の切畑小学校は、1級河川「番匠川」の雄大な流れと広大な水田に囲まれている。「おいしい食べ物や祭りなど、地域の魅力を発信したい」と新聞作りへ乗り出した5年生15人は、取材を通して、豊かな故郷が先人の知恵と努力で築かれていることに驚いた。



7月には洞明寺を訪問。清松寛哲住職(52)から、重い税に怒った農民が起こした騒動の舞台となったことや、毎年1月の祭り「初大師」に多くの人が訪れることを教わった。8月は農事組合法人「王冠」代表の田

原俊秀さん(66)に話を聞き、農業への理解を深めた。「どれを取材したらいいかな」。次々と新しい発見があり、子どもたちは活発に意見をぶつけ合った。何

度もやり直ししながら全員が記事を書き、「納得いく新聞ができた」と胸を張る。矢田みゆき教諭(52)は「歴史を深く学び、地域の一員として成長してくれた」と目を細めた。

この企画は小学生(主に5、6年生)が、地域の魅力や課題を取材し、新聞にまとめる作業を通して古里を見詰め直すことを目的としています。問い合わせは大分合同新聞社地域連携室「飛び出せ学校」係へ。☎097-538-9729、Eメールnie@oita.press.co.jp

佐伯市切畑小 先人の知恵と努力に感謝



☑南部総局の小松和茂記者から取材の仕方などを教わる(6月2日)☑田んぼで説明を聞く児童ら(8月27日)☑見出しのアイデアを出し合う(9月29日)